

# 傷害の防止

教科書 p.64-92

## ■学習内容■

### 学習指導要領の内容のまとめり

**ア. 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因**  
交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生すること。

**イ. 交通事故などによる傷害の防止**  
交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。

**ウ. 自然災害による傷害の防止**  
自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。

**エ. 応急手当**  
応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができる。また、応急手当には、心肺蘇生等があること。

### 教科書の内容(単元)

1 傷害の発生要因  
2 交通事故の発生要因  
(2時間)

3 交通事故の危険予測と回避  
4 犯罪被害の防止  
(2時間)

5 自然災害による危険  
6 自然災害による傷害の防止  
7 共に生きる〈発展〉  
(2時間)

8 応急手当の意義と心肺蘇生  
9 けがの応急手当  
(3時間)

(その他1時間, 全10時間)

## ■章の目標■

### ○総括的な目標

傷害の防止について理解を深めることができるようにする。

### ○評価の観点に即した目標

- ・傷害の防止について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。  
(関心・意欲・態度)
- ・傷害の防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。  
(思考・判断)
- ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止、応急手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項およびそれらと生活との関わりを理解できるようにする。  
(知識・理解)

■評価規準の例■ (国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成のための参考資料」より作成)

	健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
章の評価規準	傷害の防止について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	傷害の防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。	交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止、応急手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項およびそれらと生活との関わりを理解している。
学習活動における具体的な評価規準	<p>①傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>②傷害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>①傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</p> <p>②傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</p>	<p>①交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>②交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>③自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>④応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>

■指導計画例■

※【評価の観点】の丸数字(①, ②…)は、■評価規準の例■の丸数字に対応しています。

※【評価場面：活動】の数字(1, 2…)は、学習内容と活動の数字に対応しています。

ア. 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因

ページ 単元	学習内容と活動	評価の観点と方法(本時のおもな評価)
P. 64 ～ P. 65  1  傷害の発生要因	<p>&lt;本時の目標&gt; 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因、環境要因およびそれらの相互の関わりによって発生すること、人的要因としては、人間の心身の状態や行動の仕方について、環境要因としては、生活環境における施設・設備の状態や気象条件などについて理解できるようにする。</p> <p>1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。 2 「やってみよう」資料1のグラフを見て、中学生の死亡原因にはどのような特徴があるか、話し合う。 3 資料2等をもとに、中学生の傷害の現状について</p>	<p>【評価の観点】関心・意欲・態度① 傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 【評価場面：活動2, 評価方法：教師の観察】</p> <p>【評価の観点】思考・判断② 傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</p>

	<p>調べ、整理する。</p> <p>4 資料3をもとに、傷害が起こる要因について整理し、説明する。</p> <p>5 「考えてみよう」学習したことを活用し、例1～3について、事故や傷害が起きた人的要因と環境要因を考え、発表する。</p> <p>6 本時の学習をノート等にまとめる。</p>	<p>[評価場面：活動5，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況]</p> <p>【評価の観点】知識・理解① 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 [評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト]</p>
<p>P.66 ～ P.67</p> <p>2 交通事故の発生要因</p>	<p>＜本時の目標＞ 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因、環境要因およびそれらの相互の関わりによって発生すること、人的要因としては、人間の心身の状態や行動の仕方について、環境要因としては、生活環境における施設・設備の状態や気象条件などについて理解できるようにする。</p> <p>1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>2 「やってみよう」資料1を見て、中学生の交通事故にはどのような特徴があるか、話し合う。</p> <p>3 資料2等をもとに、交通事故の人的要因、環境要因、車両要因について調べ、整理する。</p> <p>4 資料3等をもとに、自転車の特性と注意点について話し合う。</p> <p>5 資料4～6等をもとに、自動車の特性と注意点について調べ、整理する。</p> <p>6 「考えてみよう」学習したことを活用し、事故例の人的要因と環境要因を考え、発表し合う。</p> <p>7 本時の学習をノート等にまとめる。</p>	<p>【評価の観点】関心・意欲・態度① 傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 [評価場面：活動2，評価方法：教師の観察]</p> <p>【評価の観点】思考・判断① 傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 [評価場面：活動6，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況]</p> <p>【評価の観点】知識・理解① 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 [評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト]</p>

## イ. 交通事故などによる傷害の防止

ページ 単元	学習内容と活動	評価の観点と方法（本時のおもな評価）
<p>P.68 ～ P.69</p> <p>3 交通事故の危険予測と回避</p>	<p>＜本時の目標＞ 交通事故などによる傷害を防止するためには、人的要因や環境要因に関わる危険を予測し、それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要であることを理解できるようにする。人的要因に対しては、心身の状態や周囲の状況を把握し、判断して、安全に行動すること、環境要因に対しては、環境を安全にするために、道路などの交通環境などの整備、改善をすることがあることなどについて理解できるようにする。</p> <p>1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>2 「やってみよう」イラストから、Aさんの危険に</p>	<p>【評価の観点】関心・意欲・態度② 傷害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 [評価場面：活動2，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況]</p> <p>【評価の観点】思考・判断② 傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</p>

	<p>ついて人的要因と環境要因から考え、予測する。</p> <p><b>3</b> 交通事故による傷害を防ぐためには、危険を予測し回避する必要があることを整理する。</p> <p><b>4</b> 「考えてみよう」学習したことを活用し、例1～3について、予測できる危険と回避の方法を考え、発表し合う。</p> <p><b>5</b> 資料1等を参考に、歩行者の安全や快適性を重視した交通環境整備の例について話し合い、整理する。</p> <p><b>6</b> 本時の学習をノート等にまとめる。</p>	<p>[評価場面：活動<b>4</b>，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況]</p> <p><b>【評価の観点】知識・理解②</b> 交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり，書き出したりにしている。 [評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト]</p>
<p>P.70 P.71</p> <p><b>4</b></p> <p>犯罪被害の防止</p>	<p><b>&lt;本時の目標&gt;</b> 犯罪被害による傷害を防止するためには、人的要因や環境要因に関わる危険を予測し、それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要であることを理解できるようにする。</p> <p><b>1</b> 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。</p> <p><b>2</b> 「やってみよう」資料1を見て、小学生や中学生は、どのような場所で犯罪の被害に遭っているのか、話し合う。</p> <p><b>3</b> 資料2等をもとに、犯罪を防ぐための3要素について調べ、整理する。</p> <p><b>4</b> 資料3等をもとに、犯罪被害の人的要因とその対策について調べ、整理する。</p> <p><b>5</b> 資料4等をもとに、地域の安全について話し合い、整理する。</p> <p><b>6</b> 「考えてみよう」学習したことを活用し、絵を見て、犯罪被害を予測し、回避する方法を考え、話し合う。</p> <p><b>7</b> 本時の学習をノート等にまとめる。</p>	<p><b>【評価の観点】関心・意欲・態度①</b> 傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 [評価場面：活動<b>2</b>，評価方法：教師の観察]</p> <p><b>【評価の観点】思考・判断②</b> 傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。 [評価場面：活動<b>6</b>，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況]</p> <p><b>【評価の観点】知識・理解②</b> 交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり，書き出したりにしている。 [評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト]</p>

## ウ. 自然災害による傷害の防止

ページ 単元	学習内容と活動	評価の観点と方法（本時のおもな評価）
<p>P.72 P.73</p> <p><b>5</b></p> <p>自然災害による危険</p>	<p><b>&lt;本時の目標&gt;</b> 自然災害による傷害は、例えば、地震が発生した場合に家屋の倒壊や家具の落下、転倒などによる危険が原因となって生じること、また、地震に伴って、津波、土砂崩れ、地割れ、火災などによる二次災害によっても生じることが理解できるようにする。</p> <p><b>1</b> 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。</p> <p><b>2</b> 「やってみよう」資料1の文章を読んで、大きな地震が起きるとどのような危険が生じるのか、話し合う。</p>	<p><b>【評価の観点】関心・意欲・態度①</b> 傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 [評価場面：活動<b>2</b>，評価方法：教師の観察]</p>

	<p>3 資料1, 2等をもとに, 地震の一次災害について調べ, 整理する。</p> <p>4 資料3等をもとに, 地震の二次災害について調べ, 整理する。</p> <p>5 読み物「釜石の防災教育」から, 二次災害についての知識や避難の必要性について話し合う。</p> <p>6 本時の学習をノート等にまとめる。</p>	<p>【評価の観点】知識・理解③</p> <p>自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり, 書き出したりしている。</p> <p>[評価方法: ノート等への記入状況, 小テストや章末テスト]</p>
<p>P.74 P.75</p> <p>6</p> <p>自然災害による傷害の防止</p>	<p>＜本時の目標＞</p> <p>自然災害による傷害が災害発生時だけでなく, 二次災害によっても生じることから, その防止には, 日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと, 地震などが発生したときや発生した後, 周囲の状況を的確に判断し, 冷静・迅速・安全に行動すること, 事前の情報やテレビ, ラジオ等による災害情報を把握する必要があることを理解できるようにする。</p> <p>1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>2 「やってみよう」自分の家庭や学校, 地域では, 地震などの自然災害に対して, どのような備えをしているか, 発表し合う。</p> <p>3 資料1等をもとに, 地震が発生したときの行動について調べ, 整理する。</p> <p>4 「考えてみよう」学習したことを活用し, 絵のような場面で地震が起きたとき, どのような行動をとればよいか考え, 発表し合う。</p> <p>5 資料2, 3等をもとに, 災害時の情報の種類や, 情報活用必要性について調べ, 整理する。</p> <p>6 本時の学習をノート等にまとめる。</p>	<p>【評価の観点】関心・意欲・態度①</p> <p>傷害の防止について, 健康に関する資料を見たり, 自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>[評価場面: 活動2, 評価方法: 教師の観察]</p> <p>【評価の観点】思考・判断①</p> <p>傷害の防止について, 健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり, 選んだりするなどして, それらを説明している。</p> <p>[評価場面: 活動4, 評価方法: 教師の観察, ノート等への記入状況]</p> <p>【評価の観点】知識・理解③</p> <p>自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり, 書き出したりしている。</p> <p>[評価方法: ノート等への記入状況, 小テストや章末テスト]</p>
<p>P.76 P.77</p> <p>7</p> <p>共に生きるへ発展</p>	<p>＜本時の目標＞</p> <p>大きな自然災害が起きた後は, 心のケアが必要になったり, 避難所で協力して生活する必要性が生じたりする場合があること, また, 日頃から地域のきずなを深めておくことが, 災害への備えにつながることを理解できるようにする。</p> <p>1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>2 「やってみよう」大きな地震が起こると, その後の生活にどんな変化が起こるのか考え, 発表し合う。</p> <p>3 資料1等をもとに, 災害の体験による心の傷や, 心のケアの必要性について調べ, 整理する。</p> <p>4 資料2等をもとに, 避難所における生活について考え, 話し合う。</p> <p>5 資料3や読み物「兵庫県震災・学校支援チーム」等をもとに, 災害後のボランティアについて調べ, 整理する。</p>	<p>【評価の観点】関心・意欲・態度①</p> <p>傷害の防止について, 健康に関する資料を見たり, 自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>[評価場面: 活動2, 評価方法: 教師の観察]</p> <p>【評価の観点】思考・判断①</p> <p>傷害の防止について, 健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり, 選んだりするなどして, それらを説明している。</p> <p>[評価場面: 活動6, 評価方法: 教師の観察, ノート等への記入状況]</p> <p>【評価の観点】知識・理解③</p> <p>自然災害による傷害の防止について理</p>

	<p>6 資料4等をもとに、災害への備えと地域のきずなについて考え、話し合う。</p> <p>7 本時の学習をノート等にまとめる。</p>	<p>解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>[評価方法：ノート等への記入状況、小テストや章末テスト]</p>
--	---	---

## エ. 応急手当

ページ 単元	学習内容と活動	評価の観点と方法（本時のおもな評価）
<p>P.78 ～ P.83</p> <p>8 応急 手当 の意 義と 心 肺 蘇 生</p>	<p>&lt;本時（2時間）の目標&gt;</p> <p>傷害が発生した際に、その場に居合わせた人が行う応急手当としては、傷害を受けた人の反応の確認等状況の把握と同時に、周囲の人への連絡、傷害の状態に応じた手当が基本であり、適切な手当は傷害の悪化を防止できることを理解できるようにする。</p> <p>心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当としては、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫などの心肺蘇生法を取り上げ、実習を通して理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。</li> <li>2 「やってみよう」絵のような場面に直面したらどうしたらよいのか考え、発表し合う。</li> <li>3 資料1や p.79 読み物「応急手当によって救われた命」等から、応急手当の意義について整理する。</li> <li>4 資料2や本文等をもとに、心臓や肺が停止した場合の応急手当の意義について整理する。</li> <li>5 p.80～83 等をもとに、心肺蘇生法の手順や胸骨圧迫のポイントを整理する。</li> <li>6 心肺蘇生の実習を行う。</li> <li>7 「考えてみよう」実習を振り返り、①～③について考え、整理する。</li> <li>8 本時の学習をノート等にまとめる。</li> </ol>	<p>【評価の観点】関心・意欲・態度①</p> <p>傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>[評価場面：活動2，評価方法：教師の観察]</p> <p>【評価の観点】思考・判断①</p> <p>傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</p> <p>[評価場面：活動7，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況]</p> <p>【評価の観点】知識・理解④</p> <p>応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>[評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト]</p>
<p>P.84 ～ P.85</p> <p>9 け が の 応 急 手 当</p>	<p>&lt;本時の目標&gt;</p> <p>応急手当は、患部の保護や固定、止血を適切に行うことによって傷害の悪化を防止できることを理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。</li> <li>2 本文等から、出血の応急手当の意義について調べ、直接圧迫止血法の目的とポイントを確認する。</li> <li>3 直接圧迫止血法を実習する。</li> <li>4 本文等から、骨折の応急手当の意義について調べ、包帯法の目的とポイントを確認する。</li> <li>5 包帯法を実習する。</li> <li>6 本時の学習をノート等にまとめる。</li> </ol>	<p>【評価の観点】関心・意欲・態度②</p> <p>傷害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>[評価場面：活動5，評価方法：教師の観察]</p> <p>【評価の観点】知識・理解④</p> <p>応急手当について理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>[評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト]</p>